

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公開番号】特開 2020-160466 (P2020-160466A)
 【公開日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-040
 【出願番号】特願 2020-102605 (P2020-102605)
 【国際特許分類】

G 0 3 F 1/62 (2012.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 1/62

C 0 9 J 133/04

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 3 月 3 日 (2021.3.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ペリクル枠と、

前記ペリクル枠の一端面に張設されたペリクル膜と、

前記ペリクル枠の他端面に付着した、架橋型の粘着剤層と、を備え、

前記粘着剤層に含まれる粘着剤は、炭素数 4 ~ 14 のアルキル基を有する (メタ) アクリル酸アルキルエステルと、硬化剤との反応性を有する官能基を有するモノマーとの共重合体である (メタ) アクリル酸アルキルエステル共重合体と、硬化剤との反応生成物を含み、

前記粘着剤におけるカルボン酸含有モノマーユニットとしてのアクリル酸の含有量が、前記 (メタ) アクリル酸アルキルエステル共重合体 100 質量% に対して 0.9 質量% 以下である、ペリクル。

【請求項 2】

前記粘着剤のゲル分率が 60% 以上 95% 以下である、請求項 1 に記載のペリクル。

【請求項 3】

前記粘着剤層の断面方向の平坦度が 20 μm 以下である、請求項 1 又は 2 に記載のペリクル。

【請求項 4】

前記粘着剤層の周方向の平坦度が 15 μm 以下である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のペリクル。